

酒田市男女共同参画推進センター

ウィズ・レター

No.107

目次 ▼酒田市パートナーシップ宣誓制度 ▼ウィズ共催事業実施報告 ▼ウィズ講座実施報告
▼ウィズ委託講座募集 ▼チエリアフェスティバル山形2023サテライト会場 ▼「男女共同参画週間」活動報告



多様性を
認め合えるまちへ

県内初

「酒田市パートナーシップ宣誓制度」

一人ひとりがお互いの多様な生き方や価値観を認め合い、尊重しながら、誰もがいきいきと暮らすことができるまちの実現を目指し、パートナーシップ宣誓制度を令和5年4月1日開始しました。

パートナーシップ宣誓制度とは？

双方又は一方が性的マイノリティ（性的少数者）である2人が、相互の協力により継続的な共同生活を行うパートナー関係にあることを市に宣誓し、市が宣誓書の受領証明書を交付する制度です。

◆婚姻とは異なり、戸籍などの記載は変わらず、法的な効力は発生しません。



利用可能な市の行政サービス

- ・市営住宅への入居申込み
 - ・所得や納税の証明書の申請
 - ・就学援助の申請 など
- ◆民間事業者などにおいても利用可能なサービスが増えるよう、制度の趣旨を周知していきます。

市民・事業者のみなさまへ

お店や事業所などで、パートナーであることを証明するために「受領証明書」が提示される場合があります。この制度は法律上の効力が生じるものではありませんが、宣誓者お二人の思いを尊重するものです。本制度の趣旨をご理解いただき、配慮と公平かつ適切な対応にご協力をお願いします。

ウィズ共催事業『教職員のためのLGBTQ+ & SOGI講座』

講師：山形県男女共同参画センターチエリア 館長 伊藤 眞知子 氏

開催日：令和5年6月28日（水）会場：山形県立酒田光陵高等学校 参加者：教職員59人

講師の伊藤眞知子さんは、男女共同参画の視点から「人は多様であり、性のあり方も多様である。同じ人は一人もいない。」と強調し、『性の多様性』、『良い関係性に必要な要素』についてわかりやすく説明しました。また、『学校における取り組み』について、学校の中のジェンダー課題に触れ、誰もが安全に“自分らしく”学べる環境づくりや、ジェンダーの視点による学校文化の見直しについて問題提起し、より学びを深めることができました。参加した教職員の皆さんは、これから進学したり社会に出てそれぞれの人生を歩んでいく学生たちに、互いを尊重しながら生きやすい社会を創っていくことを指導する立場として、とても良い機会になったことと思います。ご協力いただいたアンケートには、教職員として学ぶことの大切さを説いた感想を多く頂戴し、大変有意義な講座となりました。

参加されてのご意見やご感想

★参加者のアンケートから

- 大人の概念が変わると子どもも変わると思います。ただ知識があっても具体的にどう活かすか、変えていくかでつまづいてしまうことが多いので、今回このような機会を初めて頂いたので、何か前進できたと思います。
- 安全に居られる環境を整えていく。意味を捉える想像力を持つことが大切。LGBTQ+ & SOGIに限らず、教員には大切なことだと思います。
- LGBTQ+という言葉自体なくなれば、全員が自分らしく生きていけるのと思いました。
- 今後の指導の参考にしたいです。ありがとうございました。
- 思い込み、決めつけ、枠づけがないかを疑ってみること。
- 少しずつ、自分で認識も高めようと思った。



「教育現場において、性の多様性にまつわる支援として、どのようなことがあったらいいと思いますか？」

★参加者のアンケートから

制服、髪型をはじめとした校則の見直しが必要と思う。LGBTをカミングアウトしている教師配属。

専門職者（有識者）と、当事者の生徒が相談できるラインがあったらいいなあと思います。

個性を認めることは当たり前のことと教えられるといいと思う。



このような講座を全ての生徒が聞くことができれば良いのではないかと思います。保護者向けや教員向けの講座も同時に開催して、大人も理解しているということを生徒に知ってもらい、安心してもらうことも必要かと思っています。オンラインなどで時間や場所を問わずに、気軽に多くの人に知ってもらいたいです。

すべての人が尊重され、お互いを認め合うことの大切さに気付くための環境づくりなど。

やはり「更衣室」と「トイレ」は考え、そして実行していかなければと思います。（施設増設）

ウィズ講座『LGBTQ+ & SOGIを知ろう!』

～身近にあるいろいろな性のあり方～

講師：山形大学人文社会科学部 教授 池田 弘乃 氏

開催日：令和5年7月8日（土） 場所：酒田駅前交流拠点施設 ミライニ 参加者：33人

講師の池田弘乃さんは、6月23日に公布・施行された『性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律』を解説し、「理解」することについて「知識は重要な出発点であること、その最低限の知識を社会で共有することが欠かせない。」と強調しました。また『性の様々な側面』から『SOGI』について解説し、「フツウの人がいて、変わった少数者がいる。」という捉え方ではなく、「シスジェンダーの人も、トランスジェンダーの人もいる。」と捉えてみると、よりよい相互理解へつながる可能性が高まると話されました。

参加した皆さんは真剣に聞き入り、男女共同参画社会づくりの一環として、多様性を尊重する意識づくりを進める良い機会となりました。

講師資料より抜粋

性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律（2023年6月23日公布・施行）

（基本理念）第3条 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する施策は、**全ての国民が、その性的指向又はジェンダーアイデンティティにかかわらず、等しく基本的人権を享有するかげがえのない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり、性的指向及びジェンダーアイデンティティを理由とする不当な差別はあってはならないものであるとの認識の下に、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを旨として行わなければならない。**

※シスジェンダー（cisgender）

：出生時の登録性別と同じ性自認

※トランスジェンダー（transgender）

：出生時の登録性別と異なる性自認

（を生きる、生きようとする）

【講師資料：SOGIに関するマイノリティとマジョリティより】



★参加者のアンケートから

「大切な人を看取れる世の中かどうか」という言葉が、とても印象的でした。社会が誰にとっても、どのような思考、立場であっても、その人らしく、しあわせに生きていけるようになっていくよう、まずは「知る」ということから始め「理解」につなげていきたいと思いました。

地道に知ってもらおうことしかない。知ろうと思って講座に来てくれる人はいいが、そうでない人へのアプローチをどうしていくかは課題。

法律の角度からの視点等、大変勉強になりました。同じようなテーマでも、多様な視点からみる素晴らしさを深く感じました。

周りでLGBTへの理解も広がってきてはいますが、「配慮してあげる」や、押し付けがましい感じのない本当の平等が、社会に浸透することが必要だと思いました。あまり、マジョリティ、マイノリティという言葉にとらわれすぎるのもよくないと気づきました。

データ等、貴重な情報をありがとうございます。今後の活動や、学校での指導に向けて活用いたします。

理解増進法についての理解が深まりました。合理的な区別と差別の違いについても考えさせられました。

ウィズ登録団体企画講座を再度募集します！

2023年度のウィズ登録団体による自主企画講座を4月に募集しておりましたが、現在、開催を希望する団体はない状況にあります。再度募集いたしますので、ぜひ、ご検討くださいますようお願いいたします。

◎応募方法：配布しておりました「講座企画書」に必要事項を記入の上、郵送、Eメール、ファックスまたはご持参で男女共同参画推進センターへお申し込みください。講座企画書のデータが必要な場合や、ご不明な点等ございましたらご連絡ください。※申込締切日：2023年12月22日（金）2023年度中に開催できる事業が対象となります。



★チェリアフェスティバル山形2023

10月8日（日）遊学館にて開催されました「講演会」において、酒田市男女共同参画推進センターウィズがサテライト会場となりました！

- 演題：「男の子にも女の子にも聞いてほしいジェンダーの話」～個人の生活と社会の問題をつなぎ、今と未来を少しずつ変えるために～
- 講師：坂無 淳 氏（福岡県立大学人間社会学部 准教授）

男女共同参画パネル展を開催しました！（6月23日～29日）

ウィズでは、暮らしや社会に潜むエピソードについてユーモアあふれるイラストで表現した作品「なるほどジェンダー」のパネルの展示、また、山形県男女共同参画センターチェリア「男女共同参画早わかり」、国立女性教育会館NVECの統計資料を展示し、いろいろな角度から男女共同参画にまつわるさまざまな問題について、それぞれ考えるきっかけとなりました。

母の手だけでは
足りません！

“母の手作り”が
子どもには
一番！？

「なるほどジェンダー」のパネル展では、シールアンケートを実施しました！たくさんの親子が、「共感・いいね」と思ったパネルにシールを貼りました！

「ほめ言葉」も男女別！？

子育て支援もやっぱり“女の役目”！？

女子は言いにくい！？
“給食のおかわり”！

（公財）日本女性学習財団
パネル「なるほどジェンダー」
（イラスト 高橋由為子）より

会場：交流ひろば エントランスホール

★酒田市は、日本一女性が働きやすいまちを目指しています！



酒田市地域創生部地域共生課男女共同参画係
男女共同参画推進センター **ウィズ**

開館 月～土 9:00～22:00
日・祝 9:00～17:00
相談 月～金 9:00～16:00（祝日除く）
〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5
交流ひろば内

Tel : 0234 (26) 5616
Fax : 0234 (26) 5617
E-mail : with@city.sakata.lg.jp



▲ウィズHP

